

# 第30期秋田県老連大学校 18名が入学

令和4年度第30期秋田県老連大学校は、県内各地から18名が入学し、7月7日、県社会福祉会館において、入学式を行いました。

入学された皆さんは、12月21日の卒業式に向け、計10回の講座を学ぶこととなります。



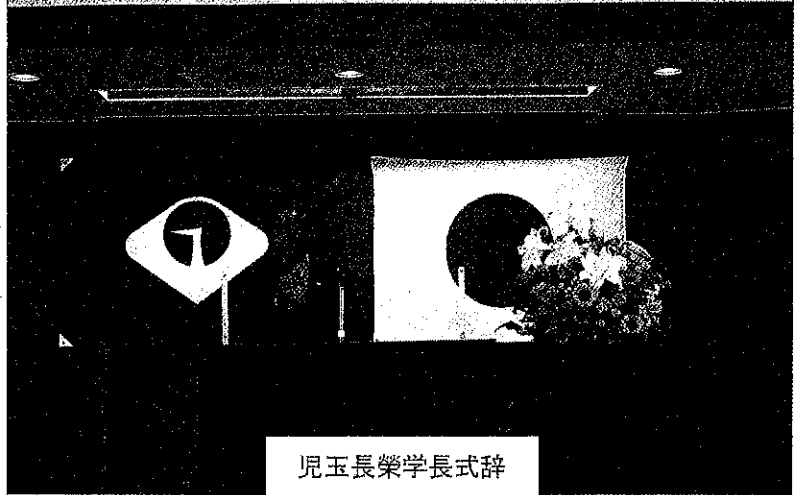
発行元 / 公益財団法人  
秋田県老人クラブ連合会  
〒010-0922  
秋田市旭北栄町1-5  
TEL 018 (864) 2723  
FAX 018 (864) 2724

秋田県老連大学校は、老人クラブの若手リーダー養成を目的に、平成五年度から始まり、これまでに、一九五名が卒業し、各地域でご活躍されています。本年度は、県内各地から十八名が入学し、去る七月七日に入学式を行いました。入学式では、国歌斉唱、学生紹介に続き、児玉長榮学長（県老連会長）式辞、学生を代表し、伊藤貞子さんから「誓いのことば」を述べていただきました。続いて、伊藤幸喜秋田県長寿社会課長から来賓祝辞、加藤正善第二十九期学生委員長から激励のことばをいただき終了いたしました。学生の皆さんは、十二月二十一日の卒業式まで、計十回の講座を学ばれることとなっております。

## 第30期 秋田県老連大学校入学者

- 目黒 初子 (男 鹿市)
- 佐藤 一喜 (由利本荘市)
- 佐藤 嘉久 (由利本荘市)
- 猪股 勝一 (由利本荘市)
- 渡部 信雄 (由利本荘市)
- 鎌田 昭子 (潟上市)
- 中村 春子 (潟上市)
- 吉田 フミ子 (潟上市)
- 三浦 ミヤ (潟上市)
- 村井 剛之 (大仙市)
- 伊藤 貞子 (大仙市)
- 佐藤 京子 (大仙市)
- 伊東 雅晴 (北秋田市)
- 生田 嶋 照雄 (北秋田市)
- 山田 操 (藤里町)
- 川崎 カツヨ (大潟村)
- 寺田 純子 (大潟村)
- 三浦 サチ (大潟村)

## 秋田県老連大学校



児玉長榮学長式辞



誓いのことば 伊藤貞子氏 (大仙市)

# クラブ活動 紹介

「旭小学校4年生と横手地域老連とのグラウンドゴルフ交流会をしてみて」

横手地域老連若手委員会

委員長 高橋範夫  
(県老連若手常任委員)

令和三年九月に地域福祉課を通じて、小学校より打診をいただき、横手地域老連若手委員会を中心に希望者を募ったところ、山内地域老連若手委員会も参加いただき、二十名程の参加をいただきました。

また、旭小学校からは、四年生五十五名(四名一組の十四グループ)と職員三名、総勢室七十八名で交流会を開催しました。

始めに先生方から、今日の交流会は、グラウンドゴ

ルフで勝敗を競うのではなく、グラウンドゴルフを通じて、地域の方々と触れ合うことにより、地域の方々と児童との繋がりがづくりが目的で開催するという説明があり、その後で、児童の皆さんから元気な挨拶を受けました。児童、老人クラブの方々を十四グループに分け、若手委員会より必要なルールや諸注意を簡単に説明していただきました。

次に、各グループにおいて自己紹介を行い、住んでいる地区や得意科目及び今日の朝食などを紹介し、盛り上がり上がっていました。

いよいよグラウンドゴルフが始まると、ほとんどの児童は、経験がなく、老人クラブの方々より指導を受けながらプレーをされていました。

最初は、上手いかず七打も打って落ち込む場面も見せる所もありましたが、老人クラブの方々の絶妙な指導で、二打で入れられる場面があり、その時は、グループ全員が驚いて、拍手

で祝福したりして盛り上がり上がっていました。

終了時間が迫ってくると「もう一コース」の声が連呼され、終わってしまうのが惜しまれ感慨深そうでした。

児童と老人クラブの方が一緒に「喜んだり」「悔しがったり」と短い時間でありましたが、楽しく交流することができました。

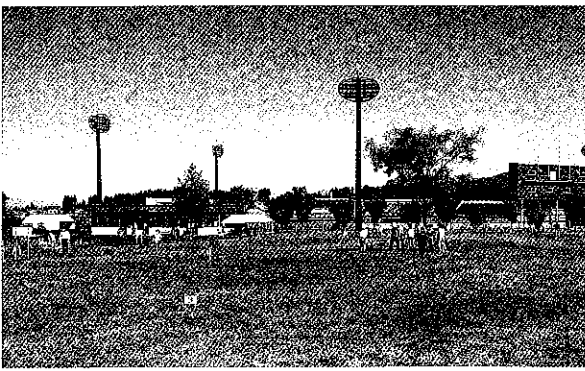
最後に、私たちのグループは、集合写真を撮り、握手をして交流会を終了しました。

地域老連の方々からの感想では、「児童のみなさんとお話したり、スポーツをしたりする事はとても楽しい。またこのような機会があれば、声を掛けてください」との声が大変多くありました。

初めての試みで、上手く交流できるのか心配でしたが、予想をはるかに上回る成果に、地域老連若手委員会を中心に声かけをした立場として、肩の荷が下りたと共に大変ホッとしました。今回の取り組みを契機に、

若手委員会の三大行事(グラウンドゴルフ大会・健康スポーツ大会・小学校との

交流会)として継続させて行きたいと意欲的に取り組んでまいりたいと思います。



# 「私たちの老人クラブ活動について」

にかほ市 大須郷寿会  
役員 伊藤 博  
(県老連若手常任委員)

## 一、地域の概況

日本海と鳥海山に抱かれたまち「にかほ市」は、平成十七年十月一日に仁賀保町、金浦町、象潟町の三町が合併し、誕生しました。

秋田県南西部に位置し、南に鳥海山、西に日本海を臨む、山と海に抱かれた風光明媚なまちです。

鳥海山の山すそが海岸近くまで延び、気候は秋田県内では春の訪れが最も早い温暖な地域として知られ、降雪量も最も少ない地域です。市内を国道七号とJR羽越本線が走り、秋田県南西部の玄関口となっています。

## 二、クラブの紹介

昭和三十七年(一九六二年)四月に創設された「大須郷寿会」は、本年六十周年を迎えます。

但し、十五年前より高齢化や新規加入がなくなったため創設当時の勢いを徐々に失い、現在は、会員数も八十代を中心に十五人と激減。

先人が築き上げてきた会も風前の灯、そこで志を新たに自治会への働きかけや会の役員が中心となつての戸別訪問を引き続き行い、老人クラブへの勧誘に取り組んでいます。

## 三、具体的な年間行事の活動

神社や自治会館清掃などの奉仕活動行事や年2回ほどのカラオケ大会・懇親会の実施。特異な活動として、会員に加入した場合、加入御礼としてティッシュ1箱、誕生日には栄養ドリンクなどを届け、また敬老の日には会員全員に紅白饅頭やケーキをお祝いとして渡しています。

また、コロナ禍公演依頼は少なくなりましたが、会員有志で立ち上げた劇団を運営し、踊りや大道芸・寸



## 四、まとめ

老人クラブ活動イコール友愛活動と捉えている私達は、今まで映画会・グラウンドゴルフ・買い物ツアー・認知症予防講座・作品づくり教室等、多彩な行事を実施し、老人が参加しやすい環境づくりをしています。ただ残念なのは、将来の

劇の練習も適宜しています。老人でもある自治会役員や地域住民の無関心により、参加者の増大に繋がらないことです。何もしなければ組織は衰退するということを再認識し、意識改革が大事であることを今後も訴えていきたい。

# 「仲間」と共に「地域」と共に 輝いて60年。

昭和から平成、そして新しい時代へ

私たち老人クラブは、活動の輪を広げ、今日我が国多数の高齢者組織へと発展してきました。

また、仲間同士の一層の結束を求めて、昭和30年代には全国各地に老人クラブが次々に設立されました。そのなかで、昭和37年(1962年)に全国老人クラブ連合会が創立。同年に秋田県老人クラブ連合会も創立され、令和4年(2022年)、共に創立60周年を迎えます。

このたび、創立60周年を記念して全国老人クラブ会員章を、新たに作成しました。

これを機会に、本県では、60周年までに会員の2割着用を目標に掲げ、その収益を60周年の際の記念事業等に活用させていただくことにしております。

記念会員章を着用して、私たち老人クラブの輪をさらに大きく広げるため、ご協力よろしく願いたします。



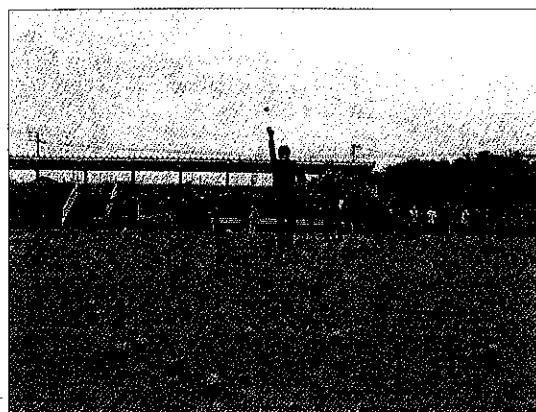
● 末広鶴と日の丸 鶴(高齢者)が、両翼を扇(末広)状に広げて、日章(日本)を担っている図。すなわち高齢者の歩みは、わが国を守り、家庭生活を支えてきたものであることを表す。なお、両翼の張り出しは、高齢者の衰えぬ活動意欲を象徴する。

● 外周文字 60th anniversary 「60周年記念」を英字表記しています。

期間限定 2019年~2022年

1,000円

※お申し込みは、各市町村老連へ



第二十八回秋田県高齢者  
ペタンク親睦交流大会

■とき

令和四年六月十五日

■ところ

潟上市長沼球技場

■参加者

二十九チーム、九十七名

■結果(優勝チームのみ)

優勝

追分クラブB・西北老B

ラブ・追分クラブA(潟

上市)・きさかた(にか

ほ市)・秋田F(秋田市)

## 今後の県老連の主な事業

### 1. 第4回高齢者グラウンドゴルフ親睦交流大会

・日時：令和4年9月28日(水)

・会場：秋田太田奥羽グラウンドゴルフ場(大仙市)

### 2. 秋田県老連創立60周年記念秋田県老人クラブ大会

・日時：令和4年10月19日(水)

・会場：あきた芸術劇場ミルハス 大ホール

・内容：1部：記念講演「社会参加は健康長寿の秘訣」

浜松医科大学教授 尾島俊之氏

2部：式典

### 3. 地域支え合い活動リーダー研修会

①県南会場：令和4年10月25日(火) 美郷町公民館

②中央会場： " 10月26日(水) 由利本荘市 アクアパル

③県北会場： " 10月27日(木) 北秋田市ふれあいプラザ コムコム

### 4. 第26回老人クラブ文化祭

・日時：令和4年11月17日(木)

・会場：あきた芸術劇場ミルハス 大ホール

※申し込みは、各市町村老連を通じてお願いします。

### 編集後記

行動制限のないお盆も終わり、また、夏祭りや各種イベントも感染防止に努めながら、再開するようになり、社会は、新型コロナウイルスと共存しながら、経済活動をしていく方向に向かっていきます。

私達老人クラブは、重症化リスクの高い高齢者の感染を防ぎ、また、医療の崩壊を招かないため、行事や事業を中止してきました。

その結果、想像した以上に、老人クラブの解散や休会が増え、会員が激減しています。やはり活動をしないところに、人は集まらないということなのでしようか。

本年は、秋田県老連が設立して六十周年の記念の年です。

いくつかの記念事業を実施することとしていますが、今一度、老人クラブの原点である「仲間づくり」に立ち返り、会員皆様と共に本年を飛躍の年にしたいものです。

(事務局 戸嶋)